

資料2. 平成27年度「野生生物と社会」学会事業計画・予算計画および中間報告

1. 会員

会員区分	個人	青年	団体	賛助	合計
平成 27 年度当初会員数	334	115	4	6	459
平成 27 年度新入会員数	21	23	1	6	65
平成 27 年度退会者数	0	0	0	0	34
平成 27 年度会員区分変更者	3 △1	△3	1	0	
平成 27 年度 9 月末会員数	357	135	6	12	510
増減	23	18	2	6	31

※賛助会員口数は2015年9月末現在で13口

2. 会議

- 理事会 2015年5月10日、早稲田大学
2015年11月21日、琉球大学千原キャンパス共通教育棟
- 総会 2015年11月22日、琉球大学千原キャンパス共通教育棟

3. 大会

- 第21回大会 2015年11月21日-11月24日、琉球大学千原キャンパス

4. 学会誌等

- 学会誌 2015年 7月、「野生生物と社会」2巻2号発行
2015年11月、「野生生物と社会」3巻1号発行予定
2016年 2月、「野生生物と社会」3巻2号発行予定
- フォーラム誌 2015年 8月、20巻1号発行（特集：アフリカゾウ問題）
2015年 2月、20巻2号発行予定（特集：外来生物法10年）

5. 部会活動等

- 青年部会 2015年 7月、IWMCで若手交流会の開催
2015年11月、第6回GreenForumの開催、大会TSの開催
- 行政研究部会 2015年11月、大会TSの開催
2015年 2月、セミナー予定
- 男女共同参画 2015年10月、男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加
- 2期将来構想WG 2015年 7月、将来構想検討会議の開催
2015年11月、将来構想検討会議の開催、大会TSの開催

6. その他

- パブコメ意見 2015年11月、鳥獣保護管理法施行規則の一部改正省令案への意見提出（予定）

「野生生物と社会」学会 2015年度 予算案 (2015年4月1日～2016年3月31日)

【 1. 収支計算書 】

科 目	2015年度予算額	2014年度予算額	増減 (2015-2014)	2014年度決算額	2013年度決算額	2014年度決算額 との比較
				(参考)	(参考)	
会費収入 合計	4,250,000	3,772,000	478,000	4,164,000	3,052,000	86,000
～前年度会費	90,000	84,000	6,000	92,000	84,000	△ 2,000
当年度会費	1,018,000	1,270,000	△ 252,000	1,748,000	910,000	△ 730,000
次年度会費	3,142,000	2,418,000	724,000	2,324,000	2,058,000	818,000
雑収入 合計	233,010	253,200	△ 20,190	371,939	240,006	△ 138,929
電子図書著作権料	228,810	250,000	△ 21,190	212,479	236,805	16,331
バックナンバー	4,000	3,000	1,000	4,167	3,000	△ 167
預金利子	200	200	0	293	201	△ 93
その他	0	0	0	155,000	0	△ 155,000
雑誌関係収入	237,000	436,000	△ 199,000	324,446	268,800	△ 87,446
F誌売上	30,000	200,000	△ 170,000	117,446	32,800	△ 87,446
F誌広告	207,000	236,000	△ 29,000	207,000	236,000	0
大会会計繰戻金	0	0	0	352,519	0	△ 352,519
当期収入合計(A)	4,720,010	4,461,200	258,810	5,212,904	3,560,806	△ 492,894
前年度繰越額	1,186,228	△ 94,341	1,280,569	△ 94,341	260,195	1,280,569
収入合計(B)	5,906,238	4,366,859	1,539,379	5,118,563	3,821,001	787,675

科 目	2015年度予算額	2014年度予算額	増減 (決算-予算)	2014年度決算額	2013年度決算額	2014年度決算額 との比較
				(参考)	(参考)	
会誌発行費 合計	1,955,000	1,751,220	203,780	1,498,344	1,396,176	456,656
総合誌印刷費	850,000	895,320	△ 45,320	643,680	544,950	206,320
F誌制作費	900,000	845,900	54,100	851,950	845,600	48,050
総合誌編集事務費	5,000	10,000	△ 5,000	2,714	5,626	2,286
総合誌編集会議旅費	100,000	0	100,000	0	0	100,000
F誌編集会議旅費	100,000	0	100,000	0	0	100,000
会誌発送関係費	120,000	120,000	0	118,733	73,392	1,267
事務局運営費	216,000	216,000	0	190,066	199,078	25,934
委託料	1,846,800	1,846,800	0	1,630,800	1,533,000	216,000
会員業務	432,000	432,000	0	432,000	420,000	0
事務局設置費	54,000	54,000	0	54,000	52,500	0
会計業務	648,000	648,000	0	648,000	630,000	0
フォーラム誌投稿窓口	64,800	64,800	0	64,800	0	0
編集業務	648,000	648,000	0	432,000	430,500	216,000
青年部会費	300,000	150,000	150,000	150,000	300,000	150,000
行政部会費	150,000	75,000	75,000	75,000	150,000	75,000
ホームページ関係費	250,000	150,000	100,000	244,879	137,445	5,121
手数料 合計	18,000	23,000	△ 5,000	17,034	21,837	966
三井カード取扱手数料	0	3,000	△ 3,000	0	2,200	0
振込手数料	8,000	5,000	3,000	7,596	4,655	404
その他手数料	10,000	15,000	△ 5,000	9,438	14,982	562
その他 合計	160,000	5,000	155,000	7,479	104,414	152,521
理事会費	0	0	0	0	0	0
WG会議旅費	150,000	0	0	0	99,414	0
選挙管理費	0	0	0	0	0	0
雑費	10,000	5,000	5,000	7,479	5,000	2,521
大会支援費	150,000	0	150,000	0	0	150,000
大会会計繰入金	0	0	0	0	0	0
支出合計(C)	5,165,800	4,337,020	828,780	3,932,335	3,915,342	1,233,465

次期繰越収支差額(B-C)	740,438	29,839		1,186,228	△ 94,341	△ 445,790
---------------	---------	--------	--	-----------	----------	-----------

参考：H27年度予算案の積算根拠

1. 昨年度からの変更

(ア)会費収入について

2015年度会費納入状況をベースに＋新規入会者数（正会員）20名　＋賛助会員4社　を獲得する前提で計算

(イ)F誌売上について

昨年度の理事購入分がなくなる＋合同シンポもない。今年はほぼ大会期間中の販売だけになるので、低めに見積もる

(ウ)総合誌印刷費

3号発行分。2巻1-2号　500部62頁として見積（通常号並）

241,500円（税抜、1号分）×3号＝724,500円（税抜）＋税57,960＝782,460円＋α

(エ)F誌製作費

550部見積結果　422,950円（税込）×2号

⇒今年は650部に。大きく値段変わらないが1号につき、プラス1万円程度

(オ)会誌発送関係費

学会誌1巻2号　2巻1号　2巻2号の　3号発行を見込んで、昨年度と同額

(カ)委託料（編集業務）

毎日学術Fとの契約：1号につき定額216,000円（税込）×3号発行予定

(キ)青年部会費・行政研究部会費　⇒　元に戻す

2. 今年度からの新規項目

(ア)総合誌編集会議・F誌編集会議旅費　各10万円

(イ)理事会旅費　0万円

昨年度会員から財政難を理由に寄付を募集している手前、今年までは理事会は支出しない。

(ウ)将来構想WG会議旅費　15万円

今年度は将来構想WGで一度この学会の将来構想を再検討してもらう機会を設ける。そのための予算として旅費分を積算。

(エ)大会支援金

今後の効率的な大会運営のために、大会参加登録システムの制作を検討する。前回大会の繰り越し35万円分もあることから。